

コン タ ク ト 先	会員機関名	公益財団法人東京都医学総合研究所 知的財産活用支援センター		
	所在地	東京都世田谷区上北沢2-1-6		
	電話	03-5316-3114	FAX	03-5316-3147
	E-mail	chizai@igakuken.or.jp	Webサイト(HP)	https://www.igakuken.or.jp/center/tlo/tlo.htm
業務範囲		・研究成果(知的財産)の権利化と管理 ・技術移転(特許・マテリアル・著作物・ノウハウ等) ・アカデミア間MTA対応 ・企業との共同研究, 技術指導, 秘密保持等の調整と契約 ・研究者への講演依頼等の対応 ・利益相反マネジメント		
活動の特徴・ アピール点・ 技術移転事例 等		都医学研は、脳神経・精神医学・がん・感染症領域を中心に幅広い領域で研究活動を行っています。最先端の研究から実用化研究まで様々なステージの研究も推進しています。知財センターは、都医学研の研究成果を社会に還元するために、実用化の可能性のある研究成果を産業界の皆様にご紹介しています。(以下に技術移転事例を記します。) 神経変性疾患モデル動物・細胞等 様々な神経変性疾患(AD, PSP, CBD, PiDなど)のモデル動物やモデル細胞、神経変性疾患の原因となる異常型タンパク質線維化タウ、線維化シヌクレイン)を導出しています。国内外で広く医薬品の開発研究に利用されています。 AAVベクターを用いた視神経の再生・保護 (緑内障や外傷性視神経障害等への応用) 緑内障や外傷性視神経障害に対して、AAVベクターを用いた遺伝子発現によって、視神経の再生・保護および視機能の回復・保全を確認しています。治療法のない緑内障や外傷性視神経障害に対する新たな治療方法として期待されています。 肝細胞特異的に自然免疫を誘導可能なB型肝炎治療薬 肝細胞特異的に薬物を送達可能な脂質ナノ粒子(LNP)に自然免疫を誘導可能な核酸アナログを封入することにより、肝毒性を抑えつつB型肝炎の原因となるcccDNAを減少させることに成功しました。B型肝炎根治のための薬剤として期待されています。		
扱う知財の 特徴・分野・件数 等		医学系分野に特化して、研究成果や知的財産権の活用を行っています。ただし、創薬ターゲットのみではなく、検査薬や医療機器への応用も期待できるシーズを取り扱っています。また、特許以外にも、研究マテリアル・著作物・ノウハウなど、様々な知的財産についてのライセンスにも対応しています。もちろん、共同研究等の対応も行っており、広く産学公連携を推進しています。特許の保有件数は2021年度末で国内46件で、外国115件(延べ)です。既に独占的なライセンスを締結している特許や産業界の皆様との共同出願となっている特許もございますので、弊所のWebサイトにてご確認ください。		